

(別紙様式2)

令和2年度の目標及びその達成に向けた活動の点検・評価

都道府県名：千葉県
農業委員会名：長南町農業委員会

I 農業委員会の状況(令和2年4月1日現在)

1 農業の概要

	田	畠				計
			普通畠	樹園地	牧草畠	
耕地面積	1060	213				1273
経営耕地面積	822	34	30	2	2	856
遊休農地面積	67	8				75
農地台帳面積	1316	415	397		18	1731

※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 経営耕地面積は、農林業センサスに基づいて記入

※3 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

	農家数(戸)
総農家数	844
自給的農家数	303
販売農家数	541
主業農家数	39
準主業農家数	91
副業的農家数	411

※ 農林業センサスに基づいて記入。

	農業者数(人)
農業就業者数	634
女性	268
40代以下	11

※ 農林業センサスに基づいて記入。

	経営数(経営)
認定農業者	17
基本構想水準到達者	0
認定新規就農者	2
農業参入法人	8
集落営農経営	0
特定農業団体	0
集落営農組織	0

※農業委員会調べ

2 農業委員会の現在の体制

旧制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 R 年 月 日

	選挙委員		選任委員					合計
	定数	実数	農協推薦	共済推薦	土地改良推薦	議会推薦	計	
農業委員数								
認定農業者	—							
女性	—							
40代以下	—							

新制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 R 3年 7月 28日

	農業委員		定数	実数	地区数
	農業委員数	8			
認定農業者	—	2			
認定農業者に準ずる者	—	4			
女性	—	1			
40代以下	—				
中立委員	—	1			

*現在の体制を記載することとし、年度途中で切り替わった場合はいずれも記載

II 担い手への農地の利用集積・集約化

1 現状及び課題

現 状 (令和2年4月現在)	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
	1273ha	349ha	27.40%
課 題	農業従事者の減少・高齢化等による遊休農地の増加、農地の分散等が農地の確保・有効利用を図る上での課題となっている。		

※1 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 これまでの集積面積は、活動計画に記載した担い手(認定農業者及び農業委員会法施行規則第10条で定める者)へ利用集積されている農地の総面積を記入

2 令和2年度の目標及び実績

集積目標 ①	集積実績 ②	(うち、新規実績)	達成状況(②／①×100)
369ha	371ha	93ha	100.50%

※1 集積目標は、活動計画に記載した集積面積を記入

※2 集積実績は、年度末時点で担い手へ利用集積されている農地の総面積を記入

※3 新規実績は、集積実績のうち1年間に新規集積面積(非担い手が自作又は利用していた農地のうち、担い手に対して権利の設定・移転がされた農地)をどの程度増加させたかを記入

3 目標の達成に向けた活動

活動計画	通年 ・円滑な権利移動ができるよう、リーフレット等を活用し農業経営基盤強化促進法による利用権設定の制度等の周知を実施する。 ・農地の利用集積に向けた掘り起こし活動を行う。 ・担い手への農地の利用集積に向けたあっせん活動を行う。
活動実績	円滑な権利移動ができるよう、リーフレット等を活用し、農業経営基盤強化促進法による利用権設定の制度等の周知を図った。

※ 活動実績は、目標の達成のために何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	引き続き掘り起こし活動等、産業振興課と連携し活動する
活動に対する評価	活動を継続することが必要

Ⅲ 新たに農業経営を営もうとする者の参入促進

1 現状及び課題

新規参入の状況	平成29年度新規参入者数	平成30年度新規参入者数	令和元年度新規参入者数
	1経営体	1経営体	2経営体
	平成29年度新規参入者が取得した農地面積	平成30年度新規参入者が取得した農地面積	令和元年度新規参入者が取得した農地面積
	1ha	4. 9ha	18. 5ha
課題	農地の情報提供		

※1 新規参入者数は、活動計画に記載した過去3年の農地の権利移動を伴う新たな新規参入者数を記入し、法人雇用や親元就農は含まない。

※2 新規参入者が取得した農地面積は、上段で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

2 令和2年度の目標及び実績

参入目標①	参入実績②	達成状況(②／①×100)
1経営体	0経営体	0%
参入目標面積③	参入実績面積④	達成状況(④／③×100)
9ha	0ha	0%

※1 参入目標及び参入目標面積は、活動計画に記載した参入者数及び農地面積を記入

※2 参入実績は、1年間に新たに参入した新規参入者数を記入

※3 参入実績面積は、上記で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

3 目標の達成に向けた活動

活動計画	新規就農の情報提供
活動実績	新規参入に繋げることが出来なかった。

※ 活動実績は、目標の達成のために、何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	新規の就農に対する情報提供が不足していた。
活動に対する評価	産業振興課と連携をし貸付に繋げることが必要。

IV 遊休農地に関する措置に関する評価

1 現状及び課題

現 状 (令和2年4月現在)	管内の農地面積(A)	遊休農地面積(B)	割合(B/A×100)
	1348ha	75ha	5.70%
課 題	・農地所有者等に対する指導が必要 ・農地利用最適化推進委員と連携し、担い手への集積・集約化に取り組みを図る。		

※1 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積と農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した同法第32条第1項第1号の遊休農地の合計面積を記入

※2 遊休農地面積は、活動計画に記載した農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 令和2年度の目標及び実績

解消目標①	解消実績②	達成状況(②/①×100)
10ha	0ha	0%

※1 解消目標は、活動計画に記載した解消面積を記入

※2 解消実績は、当該年度末時点の遊休農地の解消面積を記入

3 2の目標の達成に向けた活動

活動 計 画	措置の内容	調査員数(実数)	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期	
	農地の利用状況調査	11人	8月～10月	10月～11月	
	調査方法	管内全域を調査区域とし目視による巡回調査を実施。			
	農地の利用意向調査	調査実施時期:11月～1月			
活動 実 績	その他の活動				
	農地の利用状況調査	調査員数(実数) 11人	調査実施時期 9月～11月	調査結果取りまとめ時期 11月～12月	
活動 実 績	農地の利用意向調査	調査実施時期 ○月～○月 第32条第1項第1号 調査数: 調査面積:	調査結果取りまとめ時期 ○月～○月 第32条第1項第2号 調査数: 調査面積:	第33条 筆 ha	
	その他の活動				

4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	解消目標は達成できなかった
活動に対する評価	解消方法について検討

V 違反転用への適正な対応

1 現状及び課題

現 状 (令和2年4月現在)	管内の農地面積(A)	違反転用面積(B)
	1273ha	0. 3ha
課 題	農地パトロールを行い早期に発見する。	

※ 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※ 違反転用面積は、活動計画に記載した管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して転用されている農地の総面積を記入

2 令和2年度実績

実 績①	増減(B-①)
0ha	0. 3ha

※ 実績は、年度末時点の違反転用面積を記入

3 活動計画・実績及び評価

活動計画	違反転用者に対し、違反の是正の意向等の聞き取りを実施。 毎月 農地パトロールを実施。
活動実績	農地パトロールの実施やチラシなどで違反転用が犯罪であることを周知した。
活動に対する評価	農地パトロールを実施し、違反転用の早期発見、未然防止に努めた。

※ 活動実績は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に何日何を行ったのか等 詳細かつ具体的に記入

VI 農地法等によりその権限に属された事務に関する点検

1 農地法第3条に基づく許可事務

(1年間の処理件数: 13件、うち許可 13件及び不許可 件)

点検項目		具体的な内容					
事実関係の確認	実施状況	申請書類の審査及び農地基本台帳による確認。 農業委員及び事務局による現地調査。					
	是正措置						
総会等での審議	実施状況	事務局、現地調査推進委員、担当農業委員による説明後、1件ごとに審議。					
	是正措置						
申請者への審議結果の通知	実施状況	申請者へ総会等での指摘や許可条件等を説明した件数		件			
		不許可処分の理由の詳細を説明した件数		件			
	是正措置						
審議結果等の公表	実施状況	議事録に掲載し公表					
	是正措置						
処理期間	実施状況	標準処理期間	申請書受理から	30日	処理期間(平均)		
	是正措置						

2 農地転用に関する事務（意見を付して知事への送付）

(1年間の処理件数: 21件)

点検項目		具体的な内容			
事実関係の確認	実施状況	申請書類の審査及び農地基本台帳による確認。 農業委員及び事務局による現地調査。			
	是正措置				
総会等での審議	実施状況	事務局、現地調査推進委員、担当農業委員による説明後、1件ごとに審議。			
	是正措置				
審議結果等の公表	実施状況	議事録に掲載し公表			
	是正措置				
処理期間	実施状況	標準処理期間	申請書受理から	30日	処理期間(平均)
	是正措置				

3 農地所有適格法人からの報告への対応

点検項目	実施状況	
農地所有適格法人からの報告について	管内の農地所有適格法人数	8 法人
	うち報告書提出農地所有適格法人数	8 法人
	うち報告書の督促を行った農地所有適格法人数	〇〇 法人
	うち督促後に報告書を提出した農地所有適格法人数	〇〇 法人
	うち報告書を提出しなかった農地所有適格法人	〇〇 法人
	提出しなかった理由	
農地所有適格法人の状況について	対応方針	
	農地所有適格法人の要件を欠くおそれがあるため農業委員会が必要な措置をとるべきことを勧告した農地所有適格法人数	〇〇 法人
	対応状況	

4 情報の提供等

点検項目	具体的な内容		
賃借料情報の調査・提供	実施状況	調査対象賃貸借件数	129件
		公表時期	令和3年4月
	情報の提供方法:窓口にて公表		
農地の権利移動等の状況把握	実施状況	調査対象権利移動等件数	件
		取りまとめ時期	令和 年 月
	情報の提供方法:		
農地台帳の整備	実施状況	是正措置	
		整備対象農地面積	1731ha
		データ更新:住民記録データと固定資産課税データを年1回更新し整備、随時入力	
	公表:農地情報公開システム		
	是正措置		

※その他の事務

上記ⅡからⅥに掲げる事務以外の事務について、次年度の目標及びその達成に向けた活動計画を作成する場合には、それぞれの事務ごとに、上記様式に準じて取りまとめること。

VII 地域農業者等からの主な要望・意見及び対処内容

	〈要望・意見〉
農地利用最適化等に関する事務	〈対処内容〉

	〈要望・意見〉
農地法等によりその権限に属された事務	〈対処内容〉

※ II～VIの事務について、活動を通じて地域の農業者等から寄せられた主な意見及び対処方針について記載

VIII 事務の実施状況の公表等

1 総会等の議事録の公表

HPに公表している その他の方法で公表している

窓口にて公表

2 農地等利用最適化推進施策の改善についての意見の提出

意見の提出件数 件

提出先及び提出した意見の概要	
----------------	--

3 活動計画の点検・評価の公表

HPに公表している その他の方法で公表している

窓口にて公表